

令和6年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	自然からの贈りもの「ジビエ」普及事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人美麻ジビエ振興会 (0261-29-2017)
事業区分	(6)オ その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,314,453 円 (うち支援金: 1,181,000 円)

事業内容

- ①ジビエ加工活動(冷凍設備更新):ジビエ冷凍設備の老朽化・過大電力消費の問題を解決するために冷凍設備(コンプレッサー)の更新を行った。
- ②ジビエ料理講座の開催:プロのシェフを講師に招き、ジビエ肉の調理方法等について料理教室を2回開催した。また、参加者と味付けや調理法等、および有害鳥獣駆除やジビエの現状について意見交換の場を設けた。
- ③美麻小中学校での食育および総合学習への協力:7年生に対して、有害鳥獣駆除およびジビエについての講義と鹿前足の解体体験を行った。
- ④シカ革ワークショップへの協力:鹿皮をなめして作った革素材を利用したクラフト教室に協力し、有害鳥獣対策の必要性などの啓蒙活動を行った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①冷凍設備の更新により騒音問題や環境負荷が軽減し、電力消費量を大幅に削減することができ、経営改善につながった。
- ②2回の料理教室とも盛況であり、参加者からの活発な質問とかなりの好評を得た。ジビエの関心があまり高くない大北地域に対して、効果的な普及活動ができた。
- ③講義・体験ともに生徒たちの関心は高く、活発な質疑応答ができ、大きな教育効果があったと言える
- ④普段、獣害とは無縁な生活をしている方の参加も多く、中山間地の課題を広く周知することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。(今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など)。

- ・マルシェ等のイベントへの積極的な参加や SNS での広報活動により、効果的な新規会員の募集とジビエの普及活動を行う。
- ・美麻地域づくり会議の補助金を利用し、ジビエ料理教室を定期的に行うことで、特に地元市民へのジビエ普及活動を行う。
- ・引き続き美麻小中学校への食育および総合学習への協力を行うことで、地域の最重要課題の一つである有害鳥獣被害の対策について子供たちと一緒に考えていく。



【ジビエ料理教室】

【目標・ねらい】

- ①ジビエ処理事業の促進
- ②特産品としてのジビエの普及
- ③青少年への有害鳥獣問題の啓蒙
- ④市民への有害鳥獣問題の啓蒙

※自己評価【B】

【理由】

- ・予定通り環境負荷や電力消費の削減効果が得られた。
- ・青少年や市民へのジビエの普及、および有害鳥獣問題の周知を、効果的に実施できた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある